



**問** アクアスの今後の利活用は？

**答** 段階的に改修を行い存続する



アクアス

**問** アクアスを維持保全する為、多額の費用が発生するが本町の健康づくり拠点施設として活用されるか明確な考えを伺う。

町長

「アクアス(多世代交流棟)は建築後17年が経過し、経年劣化により近年建物全体に雨漏りや機器の故障等の不具合が発生し、施設の長寿命化に向けて修繕を計画的に実施している。地域住民への健康維持や介護予防の場として、子供からお年寄りまで家族全員で楽しめる三世代交流の場としてアクアスは本町にとって必要な施設と認識しており、今後利用者の安全面を最優先に配慮し、必要最小限度の「維持保全」を実施しながら健康づ



故障による臨時休館(12月16日~12月20日)

くり活動の拠点施設として活用していく。

**問** 施設保全の中で特に重要な温泉井戸は一本しかなく故障等が発生した場合は長期の休館が想定される。新たに一本掘削が必要ではないかと考えるがその計画の有無について伺う。

健康課長

温泉井戸に故障等が発生した場合、部品調達に日数を必要とするなど、補修が困難な状況も予想される。

そのような状況となれば長期休館を余儀なくされるため、新たにもう一本温泉井戸が必要なことは十分認識している。

このため、新たな温泉井戸の掘削について、平成27年6月に関係課や大木町健康づくり公社で施設の在り方や温泉掘削等について協議を始めたところである。2月の改修工事による休館に併せてメンテナンスを計画している。

**問** 今後の保全計画で平成24年度から39年度までの中期保全計画によると改修費用合計が5億9,500万円が必要と試算され、費用がかかりすぎる。今後の保全計画と併せて建て替えも考える時期ではないか。

健康課長

アクアス改修計画策定業務報告書によると平成24年度から39年度までに約6億円の改修費用が必要と試算があり、あまりに多額の費用を要するので、今後も利用者の安全面を最優先に考え、必要最小限の維持保全を図り、運営に支障をきたさないように努める。なお、建て替えについては、現在改修・修繕を実施している各施設等の次の更新時期が来る15年後から20年後を目途に新たな施設の整備も含め総合的に考える必要がある。

要望

学校からの要望で優先順位の上位にプール関連の改修希望が出されており建て替えの折には小・中学生も使用できる25Mプール設置を要望する。



機械室の流水状況

